



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 中部鋼鉄株式会社

上場取引所 名

コード番号 5461 URL <http://www.chubukohan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 雅晴

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 武田 亨

TEL 052-661-3811

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,127	23.6	392	—	364	—	111	—
25年3月期第3四半期	25,989	△24.0	△635	—	△564	—	△432	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 508百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △464百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	3.72	—
25年3月期第3四半期	△14.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	59,671	51,538	86.0
25年3月期	58,560	51,181	87.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 51,305百万円 25年3月期 50,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,600	28.0	600	—	600	—	300	—	10.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成26年1月31日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	31,200,000 株	25年3月期	31,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,201,096 株	25年3月期	1,201,096 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	29,998,904 株	25年3月期3Q	30,560,903 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正による輸出環境の改善や公共投資の増加等により、企業収益の改善や株価の上昇が進み、全体として回復基調で推移しました。

鉄鋼業界におきましては、土木・建築向け需要が引き続き好調に推移したことにより、当第3四半期の国内粗鋼生産量は8,393万トンと、前年同期比4.0%増となりました。

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業におきましては、土木・建築向け需要が好調に推移していることに加え、建設機械向け需要も概ね堅調であり、産業機械向け需要についても改善傾向にあります。このような環境のもと、受注量の確保、販売価格の改善に努めるとともに、更なるコスト削減に取り組んでまいりました。また、その他事業につきましてもそれぞれが積極的な営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は321億2千7百万円と前年同期比61億3千7百万円の増収、連結経常利益は3億6千4百万円（前年同四半期連結累計期間の連結経常損失は5億6千4百万円）、連結四半期純利益は1億1千1百万円（前年同四半期連結累計期間の連結四半期純損失は4億3千2百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、土木・建築向け需要が好調に推移し、建設機械向け需要も堅調であることから、主要製品である厚板の販売数量が増加しました。また販売価格も改善したことにより、売上高は307億6千3百万円と前年同期比60億5千2百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は、2億4千2百万円（前年同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は7億3千7百万円）となりました。

(レンタル事業)

レンタル事業につきましては、厨房工事等の増加により、売上高は3億6千1百万円と前年同期比2千1百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は6千4百万円と前年同期比4百万円の増益となりました。

(物流事業)

物流事業につきましては、取扱量の減少により、売上高は2億1千5百万円と前年同期比1千7百万円の減収となり、セグメント利益(営業利益)は4千7百万円と前年同期比1千9百万円の減益となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、製造業向け工事の需要が持ち直したことにより、売上高は7億8千6百万円と前年同期比8千1百万円の増収となり、セグメント損失(営業損失)は6百万円（前年同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は7千2百万円）と前年同期比6千5百万円の改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産状況

(資産の部)

流動資産は、264億8千5百万円で、前連結会計年度末より、7億6千1百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、331億8千6百万円で、前連結会計年度末より、3億5千万円の増加となりました。その主な要因は、土地の取得により有形固定資産が増加したことによるものです。

(負債の部)

流動負債は、66億7千9百万円で、前連結会計年度末より、6億6千4百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

固定負債は、14億5千4百万円で、前連結会計年度末より、8千9百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付引当金が増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、515億3千8百万円で、前連結会計年度末より、3億5千7百万円の増加となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業、とりわけ当社の主力製品である国内厚板需要の今後の見通しにつきましては、積極的な景気刺激策による公共投資の拡大や企業業績の改善等を背景に、土木・建築向け需要は都市部での大型再開案件が増加傾向にあり好調に推移しており、建設機械向けや、産業機械向けについても改善傾向にあるため、引き続き厚板需要は堅調に推移するものと想定されます。一方、主原料の鉄スクラップ価格は、鋼材需要拡大に伴う需給逼迫により高騰し、高止まりしたまま推移しております。エネルギー関連につきましても今後、価格が更に高騰していくことが予測されることから収益を圧迫する可能性があります。当社といたしましては、更なるエネルギー原単位低減によるコスト削減、販売価格の改善に取り組みながら、需要家ニーズへの迅速な対応による営業活動を心掛け、受注販売量の確保とその安定供給に邁進いたします。

このような環境の下、平成25年11月1日公表の当期業績予想を修正いたします。

しかしながら、今後もマーケット環境の変化も予想されますことから、業績予想の修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

業績予想に関する事項につきましては、本日平成26年1月31日公表の、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,214	1,257
受取手形及び売掛金	11,912	16,455
有価証券	4,433	2,101
商品及び製品	2,331	2,779
仕掛品	894	1,160
原材料及び貯蔵品	2,426	2,320
繰延税金資産	356	366
未収還付法人税等	88	—
その他	83	43
貸倒引当金	△18	△0
流動資産合計	25,723	26,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,638	7,865
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	18,425	18,078
土地	1,584	2,012
建設仮勘定	42	260
その他（純額）	13	10
有形固定資産合計	27,705	28,227
無形固定資産		
投資その他の資産	130	142
投資有価証券	3,847	3,907
長期貸付金	4	2
繰延税金資産	995	755
その他	167	163
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	5,000	4,816
固定資産合計	32,836	33,186
資産合計	58,560	59,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,664	5,384
未払金	784	631
未払法人税等	36	50
未払消費税等	7	72
賞与引当金	292	172
役員賞与引当金	4	3
その他	224	363
流動負債合計	6,014	6,679
固定負債		
退職給付引当金	1,219	1,321
役員退職慰労引当金	18	13
その他	127	119
固定負債合計	1,364	1,454
負債合計	7,378	8,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,728	4,728
利益剰余金	40,529	40,491
自己株式	△497	△497
株主資本合計	50,667	50,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	676
その他の包括利益累計額合計	291	676
少数株主持分	222	233
純資産合計	51,181	51,538
負債純資産合計	58,560	59,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	25,989	32,127
売上原価	23,589	28,611
売上総利益	2,400	3,515
販売費及び一般管理費		
販売運賃	1,481	1,693
役員報酬及び給料手当	805	719
賞与引当金繰入額	57	64
退職給付引当金繰入額	58	61
その他	634	582
販売費及び一般管理費合計	3,035	3,122
営業利益又は営業損失(△)	△635	392
営業外収益		
受取利息	41	28
受取配当金	29	37
受取賃貸料	45	47
有価証券売却益	—	3
雑収入	35	39
営業外収益合計	151	157
営業外費用		
支払利息	5	5
固定資産処分損	53	147
雑損失	21	32
営業外費用合計	80	185
経常利益又は経常損失(△)	△564	364
特別利益		
固定資産受贈益	—	13
特別利益合計	—	13
特別損失		
減損損失	—	53
会員権評価損	0	0
会員権売却損	2	—
投資有価証券評価損	4	84
特別損失合計	7	138
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△572	240
法人税等	△155	116
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△416	124
少数株主利益	15	12
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△432	111

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△416	124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	384
その他の包括利益合計	△47	384
四半期包括利益	△464	508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△479	496
少数株主に係る四半期包括利益	15	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	24,710	340	233	705	25,989
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	16	4	1,536	516	2,074
計	24,726	345	1,770	1,221	28,063
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△737	59	66	△72	△683

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△683
セグメント間取引消去	47
第3四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△635

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	30,763	361	215	786	32,127
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10	6	1,753	608	2,378
計	30,773	368	1,969	1,394	34,506
セグメント利益又はセグメント損失(△)	242	64	47	△6	347

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	347
セグメント間取引消去	45
第3四半期連結損益計算書の営業利益	392